

株式会社Edulead

【認可保育園】マロカル保育園 (埼玉県さいたま市緑区東浦和5-27-4)

【大切にしているのはこんな保育】

☆子どものしたいこと・想いをカタチに、主体性を育む保育

「マロカル保育園で一番大事にしたいのは、子どもの主体性です」と遠藤さん。そのために必要なことは「興味が湧く環境づくり」「話し合いの場」「焦らないで待つこと」だとお話くださいました。例えばお給食の時間。一斉に「ごはんだよー」「いただきます」「お着替えするよー」「お昼寝するよー」などの言葉がけはしないことにしています。子ども一人ひとりの様子を見ながら、熱中して遊びきれる場を作る、適切な言葉がけをする、興味その先を一緒に見てみる、一緒に片付けるetc. 卒園した子どもが「自分で選んで決められる」人になるよう、乳幼児期の今を支える意識で保育をしています。

5歳児のお部屋。園児がジャングルとすみっコハウスをイメージしてプロデュース!

☆話し合いを重ねて、最善を探っています

各クラスで「子どもの主体性を尊重する保育とは？」を日々話し合っています。職員一人ひとりの考えや保育観を表しながら、失敗したっていい、変えることって勇気が要るよね、思いやりながら、違いを分かち合いながら、試行錯誤の前進をしています。



【目指しているのはこんな保育】

☆「挨拶は大きく」「ありがとうは自分から」「ごめんなさいと伝えよう」

保育はチームワーク、さらにマロカル保育園は「もっとよい保育」を探っている最中です。職員間のコミュニケーションは大切にしたいです。些細なことかもしれませんが元々の良い挨拶、感謝もお詫びもちゃんとする。「自分だったらどう思う?」「全体として自分はどう動いたらいい?」職員一人ひとりが想像力を持って、当事者意識で動ける、風通しの良い職場を目指しています。

2022年7月31日 (日)
13:00~17:00

【お話しくださったのはこの方】



もともと「子どもの主体性」に関心があったのでしょうか?と聞くと、「いえいえ、実は一斉保育色が強い幼稚園でしばらく働いていたのです」と遠藤さん。ご自身が育児をする中で「大人のひとりで子どもの力を伸ばすことも、潰すこともできるんだ」と痛感したところから、方向転換されたそうです。マロカル保育園では運動会やお遊戯会ではなく、親子で楽しめるプレイデイを開催するなど、「大人の都合の保育はしない」と決めています。保育の話、育児の話、なんでも気さくにお話してくださいと思います。是非当日もいろいろなお話をしてみてください!

(園長 遠藤和恵さん)